

## ナシヒメシクイの越冬世代成虫が多く発生しています

コンフューザーを設置する場合は、早めに設置しましょう

[現在の発生状況]

- ① 5月上旬現在，県予察圃（笠間市）に設置したフェロモントラップへのナシヒメシクイ雄成虫の誘殺数は平年よりやや多い(図1)。越冬世代成虫の誘殺最盛期は，平年より約10日遅い。
- ② 5月上旬現在，地区予察圃（小美玉市，笠間市，かすみがうら市）及び土浦市に設置したフェロモントラップへのナシヒメシクイ雄成虫の誘殺数は平年より多い（図2）。

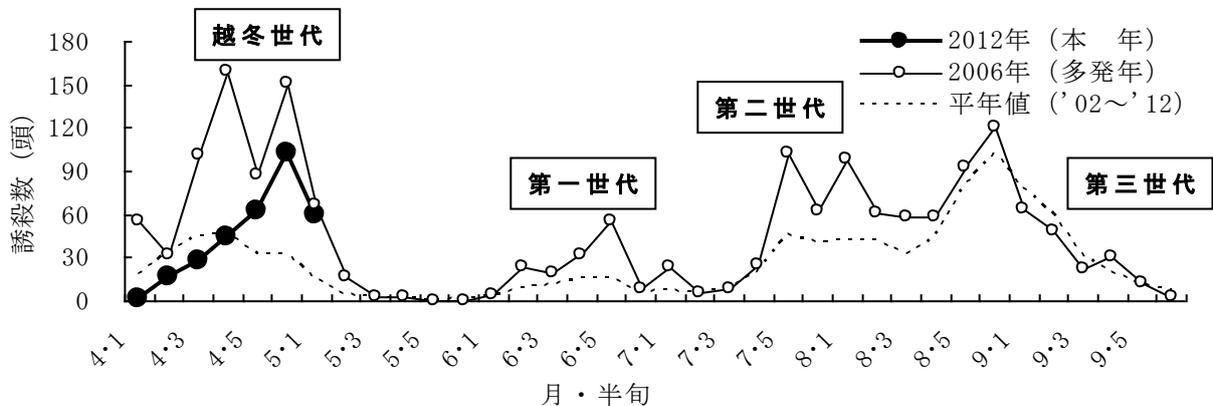


図1 フェロモントラップによるナシヒメシクイ雄成虫の誘殺数の推移(笠間市)

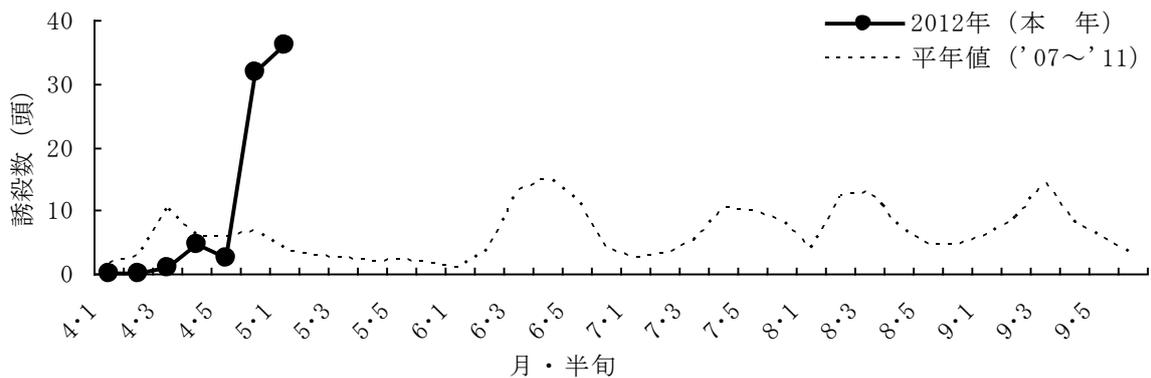


図2 フェロモントラップによるナシヒメシクイ雄成虫の誘殺数の推移(土浦市)

[防除対策]

- ① コンフューザーNを使用する場合は，5月中旬までの早い時期に150～200本/10a設置する。
- ② 越冬世代成虫の発生量の多い年は，第一世代成虫の発生量も多くなる傾向があるため，本年も第一世代成虫の発生が多くなると予想される。第一世代成虫は例年6月下旬頃に産卵するので，孵化した幼虫を対象に薬剤防除を徹底する。
- ③ 気温の推移によっては，第一世代成虫の発生時期が前後する可能性があるため，第二世代幼虫を対象とした防除時期については，今後発表する予察情報を参考にする。